



平成 23 年 7 月
発行：根本校区地域力向上
推進委員会
多治見市北丘町 1-73
TEL (0572) 27-6605
編集：NIED・国際理解教育センター



開会あいさつ

◆ふれあいねもと 若尾幸雄会長

『根本校区・地域力向上プランづくり』は市のモデル事業として実施され、わたしたち「ふれあいねもと」が事務局をしています。地域力向上のためのワークショップを体験してみてください。

◆多治見市高齢福祉課 春田 正孝課長代理

東日本大震災をみても、地域や隣近所の助け合いが大切だと実感されたと思います。高齢者保健福祉計画の見直し時期に入っており、根本校区の地域力向上プランづくりが計画にとりいれられたらと思っています。



“地域力=ご近所の底力” 10年後のビジョンを描こう!!

根本校区・地域力向上プランづくり プレワークショップ 「語ろう！共助のまちのビジョン～予告編～」 を開催しました！

5月21日、根本公民館にて、多治見市地域力向上事業『根本校区・地域力向上プランづくり』のプレワークショップが行われました。人々が生きるステージである「まち」。地域福祉の要である「共助」の基盤を住民主体で築くため、参加者全員で意見を出し合い、話し合う場となりました。今回の瓦版では、その様子を紹介します。



◆話し合いは参加型ワークショップ形式で。司会進行はNPO法人NIED・国際理解教育センター。

ワークショップとは？

対等な立場で集まった人々が、大切なテーマについて考えを深め合う会。お互いが持つ豊かな経験や知恵から学び合い、さらに新しいアイデアを創造共有する場です。

- ・リラックスして楽しく参加！
- ・限られた時間でアイデア共有！
- ・出会い、学び、つながる場！

「住民主体のまちづくり」とは、まちの仕組みなどを行政や一部の人が作るのではなく、地域に住む人々が主役となってみんなで作りを上げていくこと。そのために、今回の話し合いは、一人ひとりが対等な立場で関わり意見を出し合うことができる「参加型ワークショップ」という形で行いました。いざというときのためだけでなく、日頃から誇りと愛着を感じ、誰もが気持ちよく、安心して暮らすことのできる「まち」を、私たちのために、私たちの手で形作るために、参加者一人ひとりが主役となり話し合いました。

「住民主体のまちづくり」は「参加型」で！

ワークショップスタート！

1 まずは自己紹介

まずはお互いを知り合うことからスタート。名前、何をしてる人か、自分のウリとともに、根本校区への思いを紹介し合います。



- ・参加型で「共助のまち」のイメージを共有し、共通のよりよい未来への認識を高める。
- ・地域住民に行うアンケートの内容について、検討する。

【プレワークショップの目的】

- ・「地域力向上のための行動計画づくり」の目的・内容・進め方を体験的に理解する。

この根本校区・地域力向上プランづくり事業は、今回参加型ワークショップで行います。これからどんな形で進めていくのか、どんな形で話し合うのか、まずは体験しながら、今後のまちづくりの姿を共有していきます。

まずは体験してみよう！
プレワークショップの目的



2 根本校区この10年

次に、「我がまち」を見てみましょう。5～6人のグループで、根本校区の10年間を振り返り、変わったなと思うことを書き出します。

3 根本校区の ビジョンを描こう！

10年後の根本校区はどんなまちになっていると良いでしょうか。意見をどんどん出し合い、模造紙に書き出していきます。



4 アンケート調査項目の アイデア出し

最後に、まちの人たちにアンケートでどんなことを聞いたら良いと思うか、グループで話し合い、3～5項目にまとめます。



お答えします Q&A

- Q; ワークショップには毎回必ず出なくていけませんか？
A; できれば全部に参加してもらえると嬉しいです。毎回記録を作成しますので、欠席後の回も安心して参加してください。
- Q; グループは固定するのですか？
A; 何回かグループ替えをします。テーマが決まれば関心のある者同士の固定メンバーになります。
- Q; 「福祉」が主体だと思っていました。「地域力」とはどういう範囲のことですか？
A; 当初は「地域福祉力」としていましたが、文字通りの福祉だけでなく、防災、交通なども入れてよいという議論があり、今に至っています。

こんな意見が出ました！



1 まずは自己紹介

あなたの「根本校区で一番好きなおとこ」
「根本校区で残念だと思っているところ」は？

＜一番好きなおとこ＞
一番落ち着ける我が家／山の景色／町内の森の道／根本川／田園風景／口元の池の堤防の上から見下ろす場所／松坂台からのながめ／旭ヶ丘第四町内公園（桜）／諏訪神社／某喫茶店／駅（帰ってきたなと思う）／明和町第二町内会 etc…

＜残念だと思っているところ＞
公共交通機関が不便／朝の車の混雑／太多線の複線化／ゴミ問題／駐車・犬の散歩のマナーの悪さ／もう少し川の水がきれいになること／テナントが少ない／集まりに若者の出席が少ない（世代間の差）／若い人が増えてほしい etc…



2 根本校区この 10 年

根本校区の 10 年間、「変わったな」と思うことは？

＜人口＞高齢者が多くなり子どもが少なくなった
＜地域＞老人一人住みの増加／子ども会が少なくなっている／ボランティア活動の活発化／休耕農地→家庭菜園の増加／下水道がつながった
＜自然＞川がきれいになった（虫が出るようになった）／川が汚れた／田んぼが減り駐車場になった／桜の木が大きくなった
＜交通＞太多線（本数が多くなった・乗る人が少なくなった）／東鉄バスの便が減った／無料バス（福祉バス）が有料になった／ 248 号線バイパス完成／高速バスの増加／自動車が増え路上駐車が多い
＜住宅＞集合住宅が多くなった／空き巣の減少
＜施設＞医院、介護施設が増えた／大型店の進出で小売店が少なくなった etc…



4 アンケート調査項目のアイデア出し

まちの人に、アンケートでどんなことを聞いたらいい？

結果、同封のアンケートができあがりました！
併せてご覧ください！

根本校区の 10 年後は どんなまちになっているといい？

～ワークショップのお知らせ～

アンケートの結果を踏まえ、参加者のみなさんとともに、根本校区の現状を見つめ、将来像を描きます。
ぜひご参加ください！

9 月下旬 場所：根本公民館
開催予定 お問合せ先：根本校区地域力向上推進委員会
TEL (0572) 27-6605

プレワークショップ成果物

根本校区について、みんなでわいわい話し合った結果、どんな意見が出たのでしょうか…？

今回参加されたのは…

根本校区参加者：42 名

その他：多治見市 2 名、社会福祉協議会 2 名、
協働団体 3 名、計 49 名のみなさん



3 根本校区のビジョンを描こう！

10 年後の根本校区は、どんなまちになっているといい？

＜商業施設の充実＞買い物、病院等が便利な町／いろいろな種類のお店がある
＜道の整備＞道路や坂道の不便さがなくなる／交通死者年間ゼロ／街並みの整備（街路樹を植える）／JR 太多線の高架化で踏切をなくす
＜地域＞若い人が多く住む町／市民が中心となって考えている／困ったときに「助けて」と言える町づくり、それに答えることのできる町づくり／行事の充実（田植え・芋の苗・夏祭り・秋祭りの継承）／朝市産地直売／地域子ども会活性／各世代（老人・子ども・親）と一緒にわいわいできるふれあいの場
＜ライフライン＞きれいな飲料水／安定した電気（原発）
＜働くこと＞職場職域の拡大／百姓の後継者づくり／農地拡充／若者が Uターンできるまちづくり／地場産業
＜自然保護＞自然がある／大原川を虫でいっぱい／小川に魚がいて釣りができ泳げる川作り／高根山を桜でいっぱいに／これ以上山の緑をなくさず、このまま残し緑の町にする
＜交通機関の充実＞身体障がい者・高齢者に優しい駅／公共交通機関の増加／交通の便が良い／地域内外の巡回バス
＜施設の充実＞コンサートホール／美術館／小規模でもよいかから多くの図書館がある／新公民館の有効活用／公共施設整備（こども、青年、婦人、高齢者） etc…



ワークショップ進行は…

NPO 法人「NIED(ニード)・国際理解教育センター」が担当しています。変えたいことがある！それがよりよい未来の出発点！をスローガンに、よりよい質の教育とまちづくりのために、参加型の研修、参加と共働のプロセスデザイン、教材づくりなどを行っている NPO 法人です。

